

9. その他

1) 成医会

(1) 第136回成医会総会は、2019年10月10日（木）、11日（金）の2日間にわたって開催された。

① 特別講演

井田 博幸 教授（小児科学講座）

「ライソゾーム病の診断・治療の進歩」

糸山 俊彦 教授（薬理学講座）

「大脳基底核シナプス伝達の解析」

② 宿題報告

馬目 佳信 教授（基盤研究施設）

「甲状腺乳頭がんを認識するモノクローナル抗体の性質と応用」

中村 敬 教授（精神医学講座）

「うつ病の精神療法」

谷 諭 教授（脳神経外科学講座）

「脊椎脊髄センター創設と将来」

近藤 一郎 教授（麻酔科学講座）

「術後鎮痛に関連する周術期合併症」

③ 学外研究員の成果報告

宇田川友克 助教（耳鼻咽喉学講座）

「内耳蝸牛に隠された高度な細胞増殖能はprogenitor cell除去後に現れる」

④ シンポジウム

「新病院・新外来棟オープンに向けて」

司会 矢永 勝彦（消化器外科）

浅野 晃司（大学）

1. 西新橋再整備計画の概要

浅野 晃司（大学）

2. これからの消化器疾患の診療のあり方 ～消化器センター開設に向けて～

猿田 雅之（消化器・肝臓内科）

3. 東京オリンピック・パラリンピックを新病院・新外来棟にどのように生かすか

安保 雅博（リハビリテーション医学講座）

4. 新病院・新外来棟におけるがん医療

矢野 真吾（腫瘍・血液内科）

5. 総合周産期医療に向けて

小林 正久（小児科学講座）

6. 新病院・新外来棟における看護の役割

山下 正和（看護部）

7. 若手へのメッセージ：A I時代の医師の働き方

：内視鏡診断支援用A I開発の経験から

炭山 和毅（内視鏡医学講座）

8. 総合討論

⑤ パネルディスカッション

「臨床研究法の現状と展望」

司会 糸山 俊彦（薬理学講座）

堀 誠治（感染制御科）

1. 私立医科大学協会研究倫理委員会の調査による現状

糸山 俊彦（薬理学講座）

2. 臨床研究法の概要と課題

千田 実（臨床研究支援センター）

3. 臨床研究法施行後の臨床研究を取り巻く昨今の状況

保野 慎治（臨床研究支援センター）

4. 臨床研究法が目指すもの

志賀 剛（臨床薬理学講座）

5. 臨床研究法をふまえた臨床研究 ～慈恵医大の場合～

堀 誠治（感染制御科）

6. 総合討論

- (2) 第1265回成医会例会は、2020年2月4日（火）に行われ「微生物創薬に携わって半世紀」が講演のテーマとして選ばれた。司会は颯川晋教授（成医会運営委員長）が務め、北里大学特別栄誉教授である大村智氏が講演を行った。
- (3) 第137回成医会総会については、2020年10月8日（木）、9日（金）の2日間にわたって開催の予定。

2) 各種行事

- (1) 2019年4月11日（木）、2019年度医学科および看護学科入学式を挙行了。
- (2) 2019年6月4日（火）、学祖・高木兼寛先生生誕170年記念講演会（演者 小平奈緒選手、結城匡啓教授）を開催した。
- (3) 2019年8月7日（水）～9日（金）、宮崎県穆佐小学校学童2名、教諭2名の本学招待旅行が行われた。本行事は、昭和50年より開始され、今回で45回目となる。
- (4) 2019年9月5日（木）、学祖・高木兼寛先生生誕170年記念講演会（演者 阿部志郎先生）を開催した。
- (5) 2019年10月5日（土）、同窓会支部長会議・学術連絡会議が開催された。
- (6) 2019年10月19日（土）、卒業50周年を迎えた卒業生（昭44年）をお招きし、懇談の集いを開催した。
- (7) 2019年10月28日（月）、第115回解剖諸霊位供養法会を増上寺において執り行った。
- (8) 2019年11月16日（土）、学祖高木兼寛先生の墓参を行った。
- (9) 2019年11月27日（水）、附属病院新外来棟竣工記念式典を開催した。
- (10) 2020年1月4日（金）、新年挨拶交歓会を、テレビ会議システムを使用し、全機関にて開催した。
- (11) 2020年1月31日（金）、2020年3月末日をもって定年を迎えた矢永勝彦教授、丸毛啓史教授、堀誠治教授、谷諭教授、岡尚省教授、伊介昭弘教授、川村哲也教授、清田浩教授、新美茂樹教授、小原平教授の退任記念パーティーが行われた。
- (12) 2020年2月25日（火）、感謝状伝達式を行い、献体者遺族に対して文部科学大臣からの感謝状を手渡した。
- (13) 2020年3月7日（土）、第95回医学科、第25回看護学科卒業式を挙行了。

3) 印刷物等の発行

(1) 法人誌「The JIKEI」

慈恵大学の“今”を伝えることをコンセプトに全面カラー版誌面構成にリニューアルし、4年目を迎えた。今年度も同窓、医学部父兄、記念事業募金寄付者、医療連携機関、教職員などに送付し、本学の活動をPRした。

1) 第33号 特集「院内から地域社会へ 新しい看護医療のカタチ」

他国に類を見ないスピードで少子高齢化する日本。厚労省の保健医療政策として地域包括ケアシステムの構築が推進されている。本学でも国領キャンパスに「地域住民の健康と生きる力を看護の力で支える」ことを目的にした地域連携看護学実践研究センター(JANPセンター)を2018年4月に設立し、2019年3月から本格的に活動を開始した。同センター